

サイトパフォーマンス監視・測定サービス「Keynote」

Webサイトの表示速度が「1秒遅く」になると、ページビューは平均11%ダウン、コンバージョンは平均7%ダウン、顧客満足度では平均16%悪化します。(The Aberdeen Group調べ)

「Keynote」による客観的・継続的なサイトパフォーマンス測定により、顧客満足度向上と機会損失削減を実現します。

主な特長

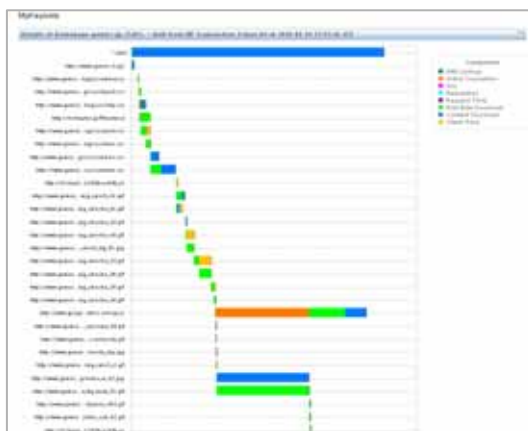
1. 全世界175ヵ所のISP測定拠点(国内2ヵ所)からサイトパフォーマンスを継続監視。
1. PCサイト、モバイルサイト、スマートフォンサイト・アプリ、ストリーミングファイル、VoIPを測定可能
2. 複数ページ遷移の測定が可能
3. Webサイトへのタグの埋め込みは不要のため、競合他社の測定も可能



測定画面

「Keynote」ではあらゆるWebサイト・モバイルサイトのパフォーマンス(表示速度と稼働率)を24時間・365日測定監視します。

定期的に測定することにより、ベースとなる表示速度の確認が可能



ブレイクダウンデータにより、課題点を把握

「Keynote」の利点

真のユーザーエクスペリエンスの測定
標準的なInternet Explorer/Fire Foxからの測定であり、全世界で最も測定拠点を持っています。

ベンチマークレポート
自社と他社のパフォーマンス状況を比較可能。

レポートとテストを管理
正確なパフォーマンス状況を適宜レポートメール等で配信。

専用登録ツール「KITE」
スクリプトレコーダーの「KITE」を使えば、難しい操作なして複雑なステップも登録できます。

サービスの特徴

外部インターネット環境を通して、24時間・365日自動監視をします。

エラーが発生した場合もリアルタイムに捕捉し、エラー時の画面キャプチャーも取ることもできるため障害対応時間の短縮が図られます。

さらに、パフォーマンスの悪いオブジェクト別にデータを取得できますので、パフォーマンス改善に向けた動きが加速します。

お問い合わせ先

モーニングスター(株)
ゴメス・コンサルティング事業部
03-6229-0810

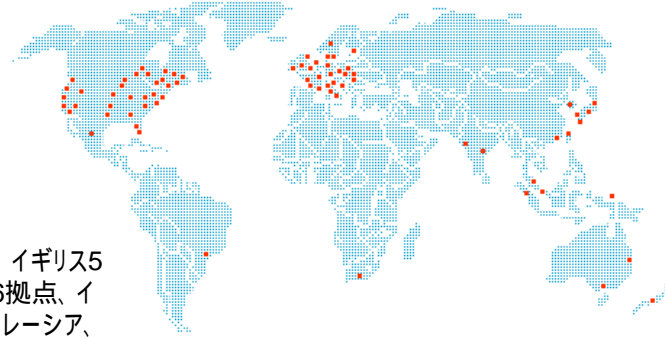
gomez-info@morningstar.co.jp

全世界の都市からの測定

日本の測定拠点

- ・NTT(東京)
- ・KDDI(東京)

アメリカ36拠点、中国6拠点、イギリス5拠点、フランス4拠点、ドイツ6拠点、インド3拠点、その他、韓国、マレーシア、フィリピン、台湾、ロシア、南アフリカ等、全世界に測定拠点があります。



世界中の主要都市から測定・監視するネットワーク

パフォーマンス管理の必要性

御社で見ている表示速度はエンドユーザーと同じ速度ではありません。

表示速度は、デバイス、ブラウザ、地域、時間により、常に変化しています。日本で1秒で表示されるページも、アメリカからだと10秒、イギリスからだと20秒かかることもあります。

つまり、実際のエンドユーザーから見た表示速度を正確に理解するためには、複数の第3者環境からの測定を行う必要があります。

「Keynote」は、日本国内・世界各地からの複数デバイス、ブラウザ測定が可能な、サイトパフォーマンス監視・測定サービスです。



携帯向けサイト、スマートフォン向けアプリケーションを測定

導入実績

Google, Yahoo!, Ebay, IBM, Microsoft, Six Apart, Verisign, Cisco systems, Fox Sports, など全世界2,600社以上に導入済みです。



ご利用料金

測定回数に応じた従量課金 予め最低利用料を定める必要があります。

5万円で8千回の計測が可能です。(計測単価5円)
これは1時間に1回2拠点から1ヶ月計測した場合、6URL分に相当します。

初期設定費用30万円(税別)が別途必要です。
パフォーマンス改善コンサルティングをご要望の場合はお問い合わせください。(50万円~)